

五月祭 20110325

○今日やること

参加者：3 石輪 竹田 鈴木博 鈴木克 宮崎 2 棚谷 森 森里

空欄を埋めろ！

	責任者	4年	3年
震災	石輪	内藤？	
		宮崎	
ハワイ		竹田	
		鈴木克	
テクニクス		鈴木博	森
Café	大谷		棚谷
			森里

	4年	3年	去年
マネージャ	鈴木克	森里	門屋
会計	内藤		嶋津
会議			浜橋
渉外	竹田	棚谷	加藤
編集			真中？
広報			戸上？

※広報は  
編集と  
統合

あとは各班で自由に。

地学と社会の感覚のギャップを埋める→地学の思考方法の紹介をしたい

その他の理学と異なって特徴的なのはやっぱり帰納法でしょう。(観察事実からの仮説組み立て)

具体例：プレテックの場合なら海岸線形状からはじまって海山列などについての考え方の変遷とか、ハワイ巡検にて何に着目した観察をしたのかとかね。

震災の場合なら一定間隔の津波堆積物からの警告(活かせなかった例)

化石なら現生種分布との対比→古環境推定

次回：4/5(火)時間は3年ガイダンス、4年授業との兼ね合いがあるので当日流します。

次ページ：展示内容について

・震災

「波と津波の違い」実験：原理、力強さの違い（わかってない人は結構多い）を見せる

「液状化実験」：そんなに難しくないはず。

ポスター：「直下型（阪神など）」と「プレート境界型（今回）」の違い

原理だけでなく、現象としての、また実際の被害における違いも。

その他、現地の被害状況など

※大谷が、ボランティアの先遣隊として4月上旬に被災地に行くそうです

・ハワイ

「島の模型展示」：ハワイ島とマウイ島を並べて、“巡検体験”みたいなことをしてもらおう。詳細は竹田プリント。

ポスター等：現地で撮影した写真など並べる。

・テクトニクス

「ベルトコンベアモデル」：海嶺、ホットスポット、沈み込み帯、付加体、アスペリティ、境界型地震。

オルゴールみたいな感じで再現できるといいね。

「こういう現象がこのベルコンで説明できるんだよ！！」みたいな論調で。

「大陸移動説の再現」：大陸型のマグネットを白版にでも貼っとく。化石群集ごとに色分け。

去年の地球で同じことは、さすがにできないか。

・Café

あらたに出たアイデア

マグカップは衛生面も、経済的にも無理。

野帳を売る？

コーヒーマーカー置いて、一杯 50 円。

話題は冊子にして置いとく

学科の宣伝もしたい

話題がつまった時用にルーレット置いとく

先生、院生をシフト配置する？※やり過ぎると本末転倒